



誇りたい  
 にかほの風景

5月中旬：早朝の釜ヶ台地区

**主な内容**

- シリーズ〈第1回目〉  
 「にかほ市地域福祉計画」……P 2～3
- 第2次男女共同参画計画……P 4～5
- 投票区・投票所の再編(案)……P 6～7
- まちの話題……P 8～9
- 行政情報チャンネル……P 10～13
- 戸籍の窓口、6月のカレンダー……P 19

vol.161

2012

**6.1**

<http://www.city.nikaho.akita.jp>

**がんばろう東北**

**象潟**  
 郷土資料館

松島・象潟夫婦町締結25周年記念企画展  
**「おくのほそ道 松島と象潟」を開催**

松島と象潟は、古くから奥羽屈指の景勝地として並び称されてきた歌枕の地であり、江戸時代には松尾芭蕉が両所を『おくのほそ道』の目的地として訪ねています。

また、松島と象潟には鎌倉時代の貞女・紅蓮の縁があります。紅蓮は俗名を谷と言ひ、象潟から松島に嫁いだものの、直前に許嫁が亡くなっており、それでも象潟に帰らず、許嫁の両親に孝養を尽くしました。後に尼となり「紅蓮」の名をもらい、生計のために米の

粉で煎餅を焼いて、生涯を松島で過ごしています。この煎餅は「こうれん」と呼ばれ、今も松島の名物となっています。

これらの縁から昭和62年(1987)8月1日、松島町と象潟町は全国初の夫婦町の盟約を結び、平成17年に合併で象潟町がにかほ市となった後も受け継がれています。平成23年3月11日に東日本大震災で松島町が被害を受けると、にかほ市はいち早く支援に駆けつけるなど、とても強い絆で結ばれています。



▲「松島全図景彩色屏風」部分(松島博物館蔵)



▲「象潟の絵屏風」右隻(象潟郷土資料館蔵)



◀芭蕉筆「象潟自詠懐紙」(蛸満寺蔵)

**記念講演会を開催**

夫婦町締結25周年を記念し、正岡子規研究の第一人者である和田克司先生を招いて、次のとおり講演会を開催します。多数ご参加ください。

**日時** 7月8日(日) 午後1時30分～3時  
**場所** 象潟シーサイドホテル  
**演題** 「芭蕉と子規の見た松島と象潟」  
**講師** 和田克司氏  
 (大阪成蹊短期大学名誉教授)

○企画展および講演会についての詳細は、郷土資料館(☎43・2005)までお問い合わせください。

ことし平成24年は夫婦町締結から25周年です。象潟郷土資料館では、銀婚を迎えたことを記念し、松島と象潟の深い「縁」を、歴史や芭蕉を中心とする文人たちの記録や作品から紹介します。

今回は、松島町の松島博物館所蔵の「松島全図景彩色屏風」(六曲一隻)、瑞巖寺所蔵の「奥州松嶋一山之図」などのほか、資料館所蔵の「象潟の絵屏風」(六曲一双・市指定文化財)をはじめ芭蕉「おくのほそ道」関連の資料を展示します。

期間は6月2日から来年の5月19日までです。なお、初日の6月2日(土)午前10時から資料館職員が展示説明会を行います。

企画・編集/にかほ市広報委員会 発行/にかほ市役所  
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地

☎0184-43-3200(代表) ☎0184-43-7510(直通)  
 電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp  
 ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>